

【外国語・中1・「Program7 Research on Australia」】①

育成を目指す資質・能力

群馬の観光地について写真やメモを見ながら、観光地を紹介したり、即興的に質問したりできる。

ICT活用のポイント

話し手：作成した群馬の名所スライドを既習の言語材料を用いて紹介する。

聞き手：興味をもったことについて、話し手に即興で質問する。

端末を活用した【Show & Tell】の活動を通して話すこと(やりとり)の能力を育成する

【つかむ】

単元の学習活動で使用する表現を
ペアでの帯活動で習得させる

【全体で追究する】

ALTのプレゼンテーションのモデル
を聞き、JTEと共に質問を考える

【ペアで追究する】

写真を見ながら、メモだけで説明したり、説明を聞いて感想を言ったり、即興で質問したりする

【まとめる】

いろんなペアとのやりとりを振り返る

事例の概要

- スライドに名所の写真や英文のメモを載せて名所紹介シートを作成する。
- 紹介シートの写真を見ながら、名所についてペアでやりとりをする。

【事例におけるICT活用の場面①】

一斉学習【教師による教材の提示】

- ALTが作成したスライドを大型モニタに映し、プレゼンテーションの見本を示す。

【事例におけるICT活用の場面②】

協働学習【発表や話し合い】

- 作成したスライドを共有し、お互いの端末で同じ画面を見たり、それぞれの端末を見せ合ったりしながらやりとりする。

- 名所について説明できたことや質問できたことを振り返らせる。

【外国語・中1・「Program7 Research on Australia」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



There is(are) ~を使ってそこにあるものを紹介しよう

端末上の絵の内容について説明するメインの活動につながる帯活動

- ・「Show&Tell」の活動に適切な画像の写真や絵があると、生徒の意欲が一気に高まる。
- ・全体で追究する場面では、生徒は、ALTが作成したスライドを見ながら、ALTのモデルプレゼンテーションを聞くことによって、自分たちが行うプレゼンテーションのイメージが作ることができた。
- ・ALTのプレゼンテーションに対する感想や質問をJTE、友達と一緒に考え、やりとりをすることで本時の学習の見通しをもつことができた。

【活用したソフトや機能】

- プレゼンテーションソフト
- ウェブブラウザ
- ファイル共有
- 大型モニタ

【事例におけるICT活用の場面②】



端末の紹介シートを見せ、ジェスチャーを交じえ、原稿なしで説明する様子

・プレゼンの時は同じ画面を見ながら
・質問を考えたときは個々の画面を見ながら

- ・複数の友達のプレゼンテーションを聞くことで、自身のプレゼンテーションにも生かすことができた。
- ・複数の友達からの質問に答えることで、新たな視点が生まれ、自身のプレゼンテーションを修正する生徒もいた。
- ・相手の紹介シートを共有することにより、自身のICT端末でも見られるので、質問を考えたり、より詳しく見たい部分があったりした際に大変有効であった。